

広島県・広島市折半保証 市場公募債の発行に向けて

IR説明資料
ダイジェスト版

令和5年11月

■ 広島高速道路債券の特徴

- **広島県・広島市の債務保証付きの公的セクター債券**
- **BIS規制上のリスク・ウェイト『0%』(地方債と同等)**
 - ・ 設立団体である広島県・広島市が、元金と利息のそれぞれ1/2を分担して保証し、主たる債務が履行遅滞となるとただちに広島県・広島市が履行義務を負うこととなります。

令和5年度広島高速道路債券(12月市場公募債)の概要

発行予定額	10年債・20年債を中心に計60億円程度
償還方法	満期一括償還
資金の用途	高速道路の建設資金及び長期借入金の借換資金
起債時期	令和5年12月上旬(予定)
発行時期	令和5年12月22日(予定)
位置付け	金融商品取引法第2条第3号に該当する有価証券です
格付け	広島県・広島市の債務保証付き債券であることから、格付けは取得していません
主幹事	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(事務)、SMBC日興証券株式会社、大和証券

発行実績

平成19年度から、毎年度継続的に発行

■ 令和3年度以降の発行実績

回号	発行日	発行額	年限	表面利率	発行価格	スプレッド
第23回	R4.2.21	50億円	10年	0.274%	100円	8.0bp
第24回	R4.2.21	70億円	15年	0.470%	100円	5.0bp
第25回	R4.2.21	90億円	20年	0.600%	100円	1.0bp
第26回	R4.12.22	35億円	10年	0.564%	100円	31.5bp
第27回	R4.12.22	48億円	20年	1.181%	100円	9.5bp
第28回	R5.2.28	40億円	10年	0.755%	100円	26.0bp
第29回	R5.2.28	30億円	20年	1.435%	100円	9.0bp

■ 広島高速道路公社の事業概要

- 地方道路公社法に基づき、国の認可と広島県・広島市の各2分の1の出資を受け、設立された特別法人
- 整備計画・料金認可など、運営上の重要事項については、国・広島県・広島市の許認可等を受け、事業を遂行
- 市場公募債を含む借入金等で道路を建設し、お客様から頂く通行料金により借入金を償還する「有料道路制度」を活用した非営利事業を実施(市場公募債は、建設資金及び建設資金の借換資金に充当)

有料道路の種類と事業主体

高速自動車国道	NEXCO (東日本、中日本、西日本)
一般有料道路	地方公共団体 地方道路公社
本州四国連絡高速道路	本州四国連絡高速道路(株)
都市高速道路	首都高速、阪神高速 指定都市高速道路公社 (広島、名古屋、福岡北九州)

広島高速道路ネットワーク図

広島サミットで各国要人の移動手段として活用されました。



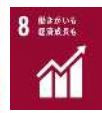
広島高速道路債券への投資意義

- **広島都市圏を支える道路整備により地域発展に貢献 → その効果は社会全体に波及**
 - ・ 日本の道路網の一翼を担い、都市間の人流・物流を支えることにより、社会経済の発展や国土強靱化に寄与
 - ・ 一定速度で走行可能な高速道路は、CO₂排出量を削減でき、カーボンニュートラルに寄与

中期経営計画の重点テーマ

重点テーマ

- ①ネットワーク機能の強化 ②予防保全対策等の推進
③災害対応力の強化 ④安全な走行 ⑤組織力の強化



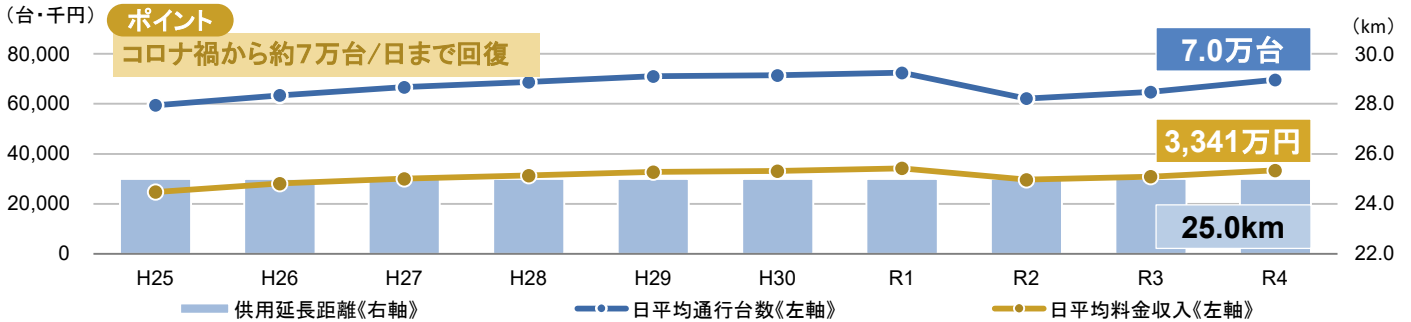
etc.

※ 中期経営計画については、広島高速道路公社ホームページでご覧いただけます。(URL: <https://www.h-exp.or.jp/project/>)

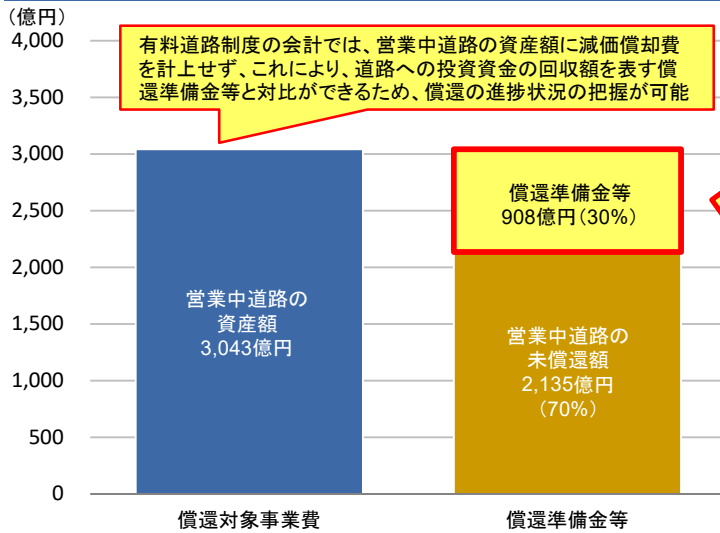
■ 広島高速道路公社の運営状況

注) 本頁の端数処理においては、係数毎に四捨五入を行っているため、計において合致しないことがあります。

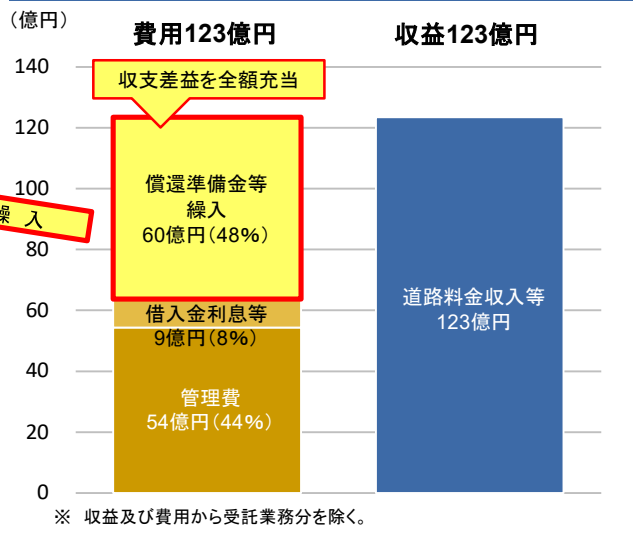
通行台数と料金収入の推移



令和4年度末の償還状況(B/S抜粋)



令和4年度の営業中道路の運営状況(P/L抜粋)



令和4年度の貸借対照表(B/S)

資産の部		負債及び資本の部	
勘定科目	R4年度	勘定科目	R4年度
流動資産	8,702	流動負債	22,974
固定資産	402,962	固定負債	210,215
営業中道路	304,279	広島高速道路債券	149,300
道路建設仮勘定	98,052	地方公共団体借入金	29,224
その他	631	政府借入金	30,239
繰延資産	451	民間借入金	1,123
		その他	329
		償還準備金等(特別法上の引当金等)	90,787
		基本金	88,005
		剰余金	134
資産合計	412,115	負債・資本 合計	412,115

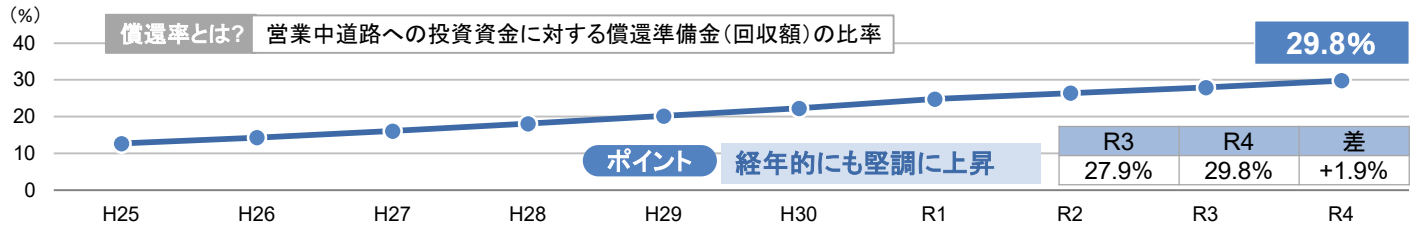
- 資産の状況**
 - 資産の総額4,121億円のうち、お客様にご利用いただいている営業中道路の資産額は3,043億円で、資産全体の約74%を占める
- 負債及び資本の状況**
 - 負債及び資本の総額は4,121億円で、主なものは、道路債券を含む長期借入金2,102億円、元金償還に充当する償還準備金等908億円、設立団体である広島県・広島市からの基本金880億円

令和4年度の損益計算書(P/L)

費用の部		収益の部	
勘定科目	R4年度	勘定科目	R4年度
事業資産管理費	5,045	業務収入	12,290
一般管理費	389	道路料金収入等	12,195
業務外費用	937	業務雑収入	95
受託業務費	251	受託業務収入	251
小計	6,622	業務外収入	62
償還準備金等繰入	5,981		
合計	12,603	合計	12,603

- 収益の状況**
 - 収益の総額は126億円で、そのほとんどがお客様からの道路料金収入であり、受託業務収入を除く全体の99%を占める
 - 道路料金収入は、コロナ禍からの回復傾向により、前年度比9.2億円(8.1%)の増加
- 費用の状況**
 - 費用の総額は126億円で、主なものは、道路の維持補修や料金收受などに要した管理費54億、業務外費用(借入金利息など)9億円及び收支差益(料金収入と管理費等費用の差)を償還準備金等繰入として費用に計上した60億円

償還率の推移



年度	償還率 (%)	差
R3	27.9%	
R4	29.8%	+1.9%